

No.11 「聞き合い」

おはようございます。2学期もあと3週間となってきました。かぜやコロナ対策として、教室の換気はしっかりできていますか？

校長先生の声、届いていますか？

さて、今回は新しい漢字を募集しましたところ、これまたたくさんの漢字を書いてくれました。ありがとうございました。YouTube関係の漢字が多く見受けられましたが、みなさんはどんな漢字をつくってみましたか？また、こんな漢字思いついたよ！というのがありましたら、校長先生に教えてくださいね。

それでは今日は「聞き合い」という事についてお話をしたいと思います。

よく校長先生はこの放送朝会でも、皆さんに聞き合ってくださいと、お願いをしますが、どういうことをしてほしいかは分かりますよね。

この聞き合いという言葉は、あまり一般的ではないかもしれませんが、勉強していく上ではとても重要だと校長先生は考えています。

よく似た言葉に「話し合い」という言葉があります。この話し合いの方が、一般的でよく使われていますね。話し合いと聞き合いどう違うのでしょうか？

例えば、「この問題について、ちょっと話し合ってみてください」と言うと皆さんは、お互いに自分の意見を、相手に伝えるために、まさに話し合っていきますよね。

それに対して、「聞き合い」というのは、自分も相手もよくわからないことを話し合っていく事なんです。

話し合いというのは、例えば朝学校に来て、お友達と「昨日のあのテレビ見たー？」とか「なあ、あのゲームのあの敵どうやってたおすん？」などお互いによく知っていることを、情報交換してい

くこと。これが話し合いです。お友だちと、情報交換することはとても面白いことですよね。

しかし、学校の勉強はこの話し合いだけでは少し困るのです。そう勉強というのは、基本的に自分の習っていない、知らないことを学んでいくことです。

クラスの誰もがわからないことを先生が質問されたとき、「そんなん習ってないから知らんわ」とか「そんなん、わかれへんわ」で話が終わってしまっただけは大変もったいないのです。

そうではなく、ちょっとでも考えたことや思いついたことでいいので、もちろん間違っているかもしれませんが、それでも「ちょっとわからへんねんけど、こうかなあ」とか「これちょっと違うかもしれへんねんけど」とか言いながらお互いにわからなさを話し合っていくことが聞き合いなのです。これが勉強ではとても重要なのです。

どうぞ授業では、わからないことや、困っていることをどんどんペアの人やグループの中で、聞き合ってみてください。

「これなんやろう、難しいなあ。」「こんなん知らへんなあ、わからんなあ」という言葉が授業中にどんどん出てくれば、しめたものです。勉強というのは、そこから始まるものなんです。

そうやって、わからないもの同士が、ぶつぶつとつぶやきながら、そこから新しい発見とか気づきとかがあって、学びっていうのが生まれてくるのが、本当の勉強なんです。

さて今日のお題です。今日は、聞き合うと言う新しい勉強のやり方を皆さんにお話しましたが、皆さんは一体どんな勉強がしてみたいですか？

例えば、ぼくは恐竜がすきだからもっと恐竜のことをもっと勉強してみたいなーとか、私はおしゃれが好きだからおしゃれについて勉強してみたいなど、どんなものでもかまいません。皆さんが将来くわしく勉強してみたいと言うものを、教えてください。